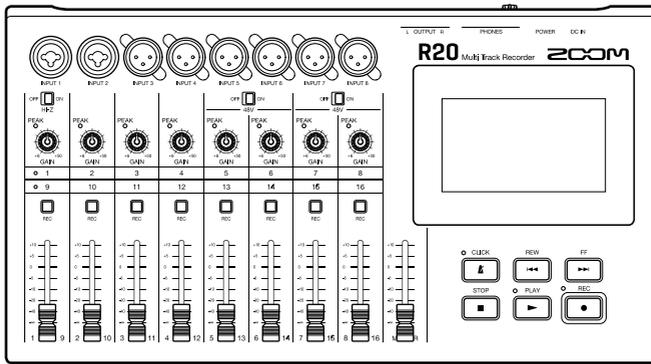


# R20

## Multi Track Recorder



## クイックツアー

ご使用になる前に「安全上の注意／使用上の注意」を必ずお読みください



オペレーションマニュアルは、ZOOMのWEBサイト（[www.zoom.jp/docs/r20](http://www.zoom.jp/docs/r20)）からダウンロードできます。

このページには、PDF形式とHTML形式のファイルがあります。

PDFは、紙に印刷する場合やパソコンでの閲覧に向けたファイル形式です。

HTMLは、スマートフォンやタブレットでの閲覧に向けたファイル形式でブラウザで読むことができます。

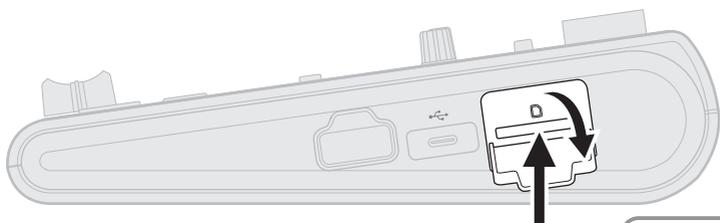
© 2021 ZOOM CORPORATION

本マニュアルの一部または全部を無断で複製／転載することを禁じます。

本マニュアルは将来必要となることがありますので、必ず参照しやすいところに保管してください。

本マニュアルの内容および製品の仕様は予告なしに変更されることがあります。

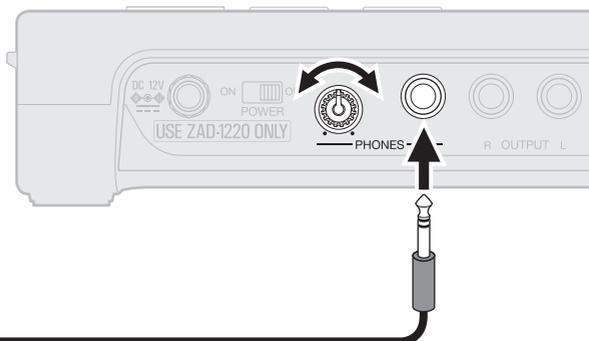
## SD カードをセットする



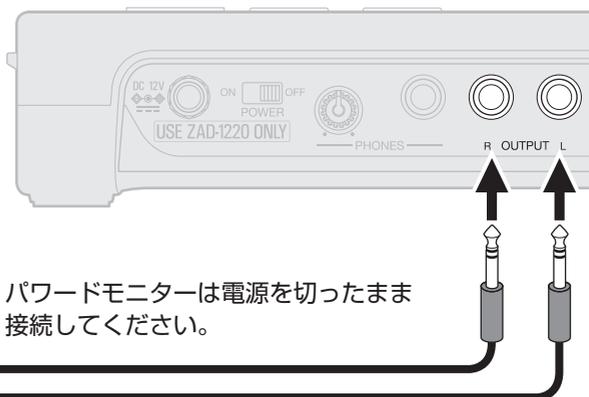
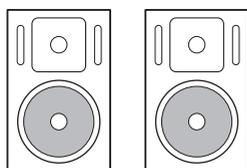
対応記録メディア  
SDHC : 4 GB ~ 32 GB  
SDXC : 64 GB ~ 512 GB

## 出力機器を接続する

ヘッドフォン

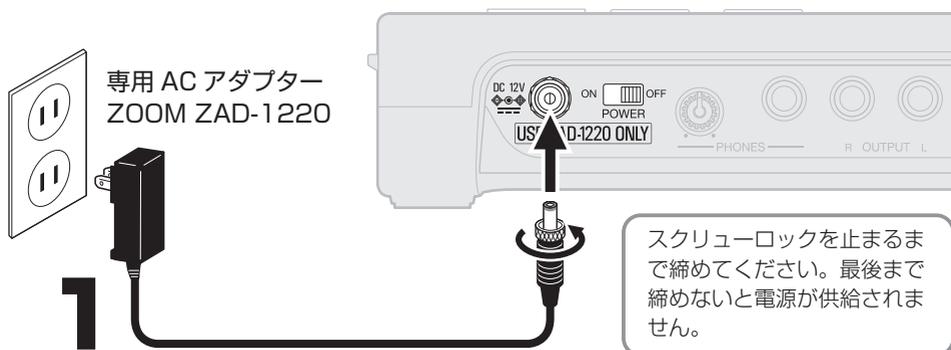


パワードモニター



パワードモニターは電源を切ったまま  
接続してください。

# 電源を入れる

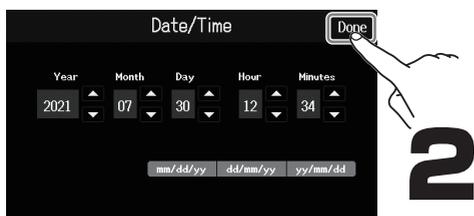
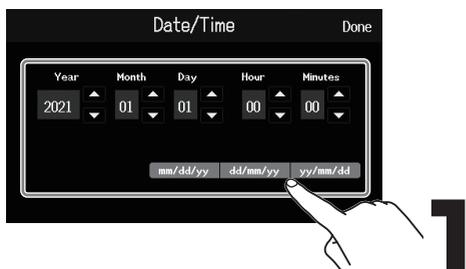


パワードモニターの電源は、R20  
が起動してから入れてください。

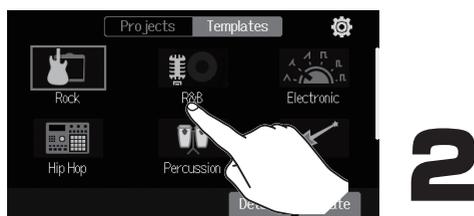
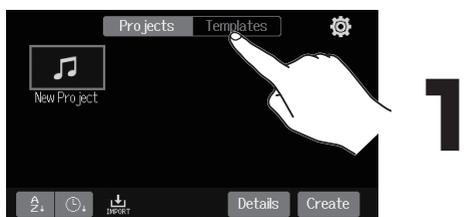
R20 は操作をしない状態で 10 時間が経過すると、自動的に電源が切れます。常に電源を ON にしたい場合は、電源の自動 OFF 機能 (Auto Power Off) の設定を Off にしてください。



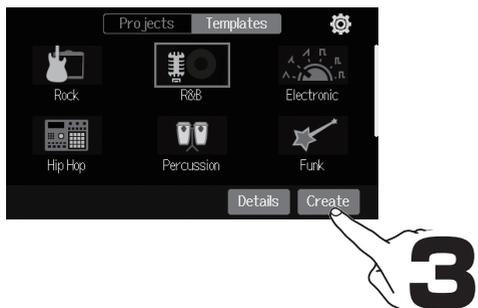
## 日時を設定する



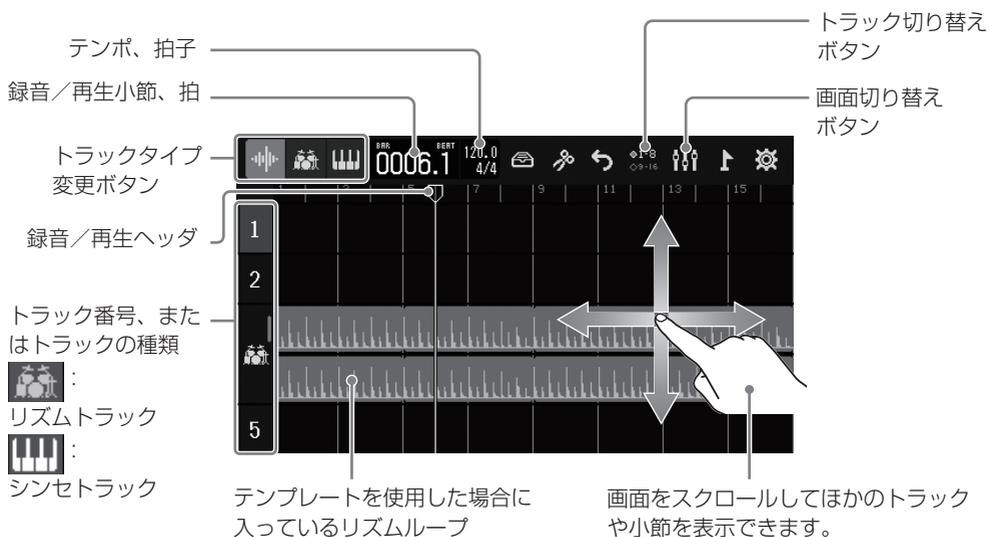
## プロジェクトを作成する



テンプレートにはあらかじめリズム  
ループが入っています。お好みのテ  
ンプレートを選んでください。

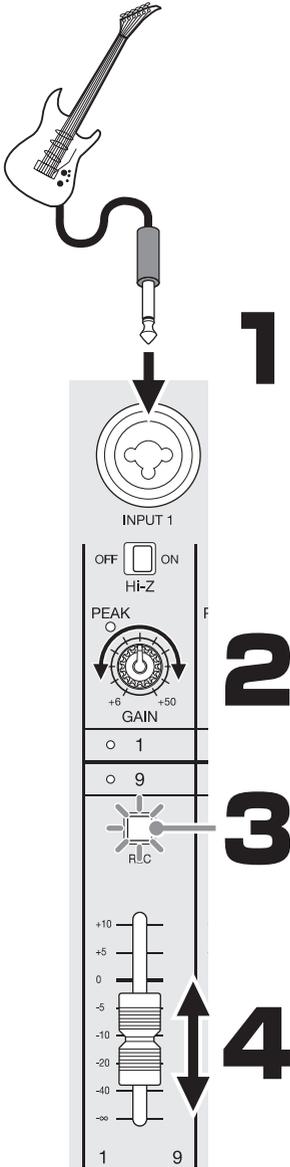


## ■ ホーム画面



# 録音する

## ■ 接続と準備

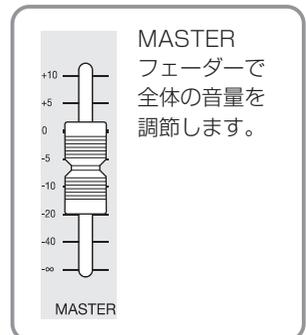


接続する機材	接続先と設定
パッシブピックアップのギターやベース（直接接続）	INPUT 1 ( OFF <input type="checkbox"/> ON ) Hi-Z
アクティブピックアップのギターやベース、シンセサイザーなどの電子楽器	INPUT 1 ( OFF <input type="checkbox"/> ON ) INPUT 2 Hi-Z
ダイナミックマイク	INPUT 1 ~ 4 INPUT 5 ~ 8 ( OFF <input type="checkbox"/> ON ) 48V
コンデンサーマイク	INPUT 5 ~ 8 ( OFF <input type="checkbox"/> ON ) 48V

音を鳴らして、最大音量のとき **PEAK** が点灯しない程度に調節します。

**REC** を押して点灯させます。

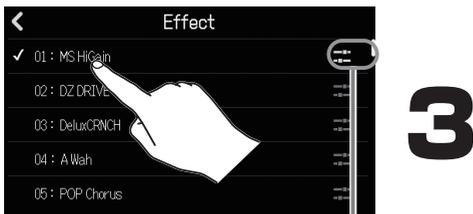
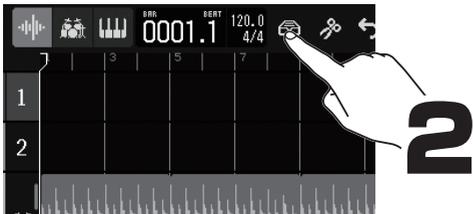
音を鳴らして、フェーダーを調節します。



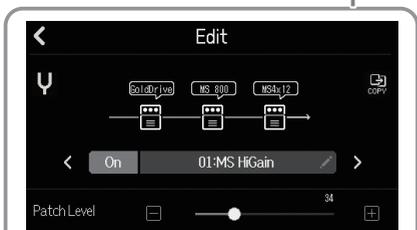
## ■ エフェクトをかける



エフェクトをかけるトラックを選択します。



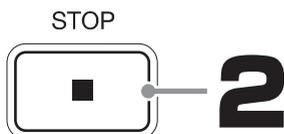
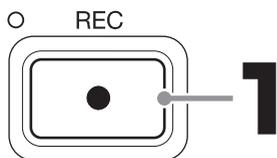
を付けてパッチメモリーを選択します。



エフェクトの細かい設定を変更できます。

-  をタップすると、1つ前の画面に戻ります。
- パッチメモリーとは、使用エフェクト、並び順、各エフェクトのON/OFFや、パラメーターの設定を記録したものです。

## ■ 録音する

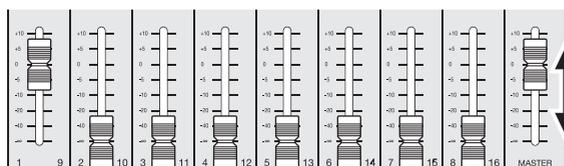
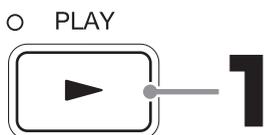


 を点灯させたトラックが録音されます。



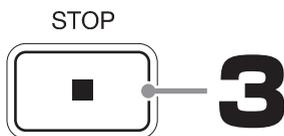
停止中に  を押すと、録音／再生ヘッドが先頭に戻ります。

## ■ 再生する

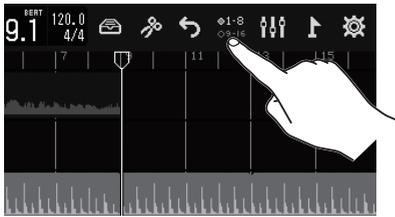


再生したいトラックと  
MASTERのフェーダーで  
音量を調節します。

2

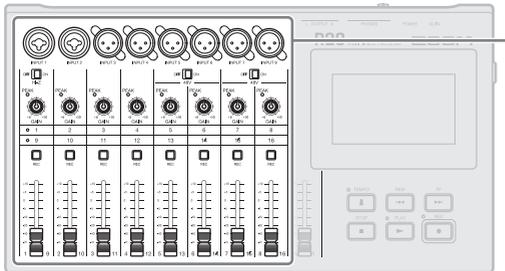


## ■トラック9～16を使う（トラックの切り替え）



1

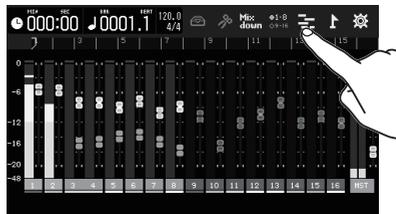
「INPUT 1～8」の接続先と、本体で操作できるトラックを選択します。



◆1-8 : トラック1～8を操作できます。

◆9-16 : トラック9～16を操作できます。

## ■画面を切り替える



### トラックビュー

通常の録音・編集画面です。録音した波形や位置を把握しやすいので、曲の構成を考えたり編集するのに便利です。

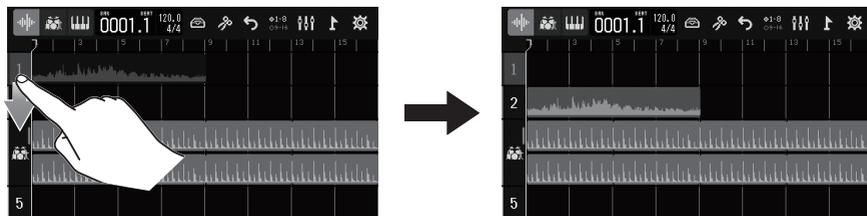
### レベルメータービュー

すべてのトラックのレベルメーターとフェーダーを表示する画面です。複数チャンネルの同時録音やミックスバランスの調整に便利です。

トラックを切り替えたときなどは、本体上のフェーダーを動かして、一度明るい  に合わせるとフェーダー位置が反映されます。

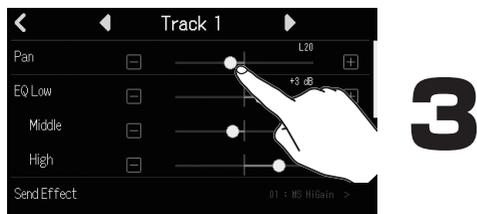


## ■トラックの中身を入れ替える



ギターとベースを INPUT 1 (Hi-Z 入力) に直結して録音したいときなどに、先に録音したデータを移動させてトラック 1 を空けることができます。

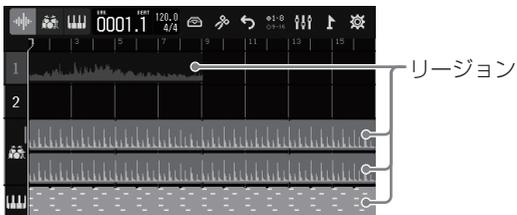
## ■各トラックの設定をする



トラックの各設定をします。

# プロジェクトを編集する

録音した各トラックに追加される波形や MIDI ノートをリージョンと呼びます。R20 には、オーディオ、リズム、シンセのリージョンがあり、これらを編集することでプロジェクトを作成します。



## ■ リージョンを移動する



## ■ リージョンを伸ばす（ループする）

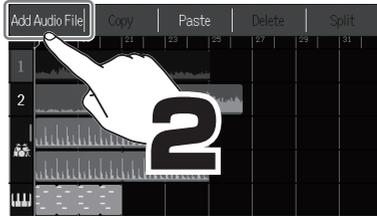
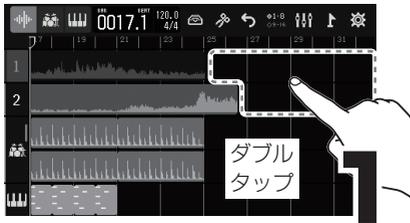


## ■ リージョンを編集する



## ■ リージョンを追加する

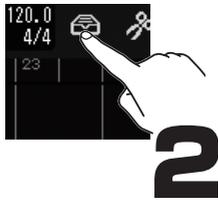
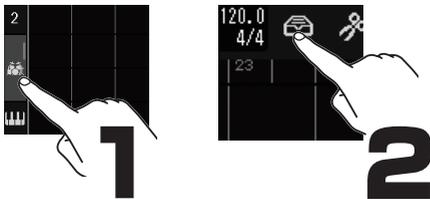
### オーディオ



### シンセ



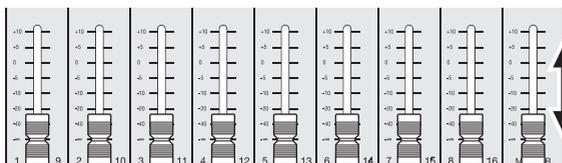
### リズム



## ミックスダウンする

プロジェクトをステレオ WAV ファイルにミックスダウンします。  
プロジェクトを実際に再生しながら記録するため、再生中のフェーダー操作による音量の  
変化はすべて反映されます。

## ■ ミックスバランスを調節する



再生音を聞きながら、  
好みのバランスになるよう  
フェーダーを調節します。

## ミュート/ソロ機能

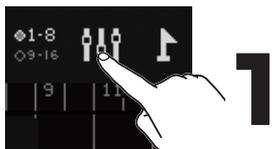


トラックをミュート  
します。



選択したトラックの  
音だけを出力します。

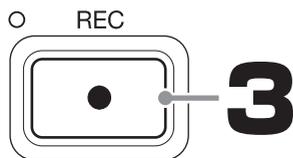
## ■ ミックスダウンする



レベルメータービューに切り替えます。

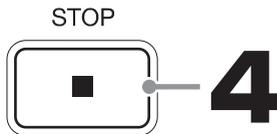


**Mix down** をタップして赤色にします。



プロジェクトが再生され、ミックスダウンファイルの作成が始まります。

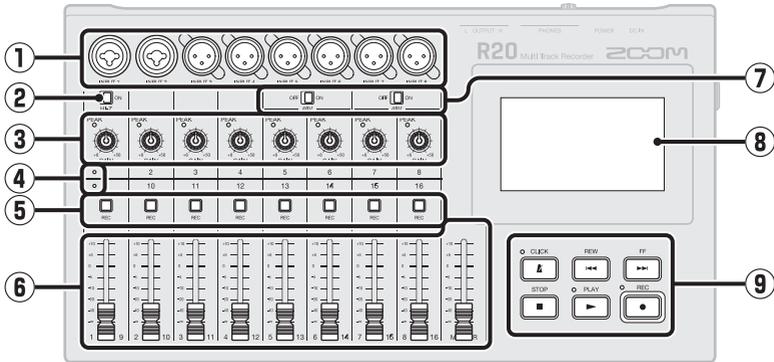
この間のフェーダー操作はすべてミックスダウンファイルに反映されます。



ミックスダウンを終了します。

ミックスダウンされたファイルは、SDカードの「AUDIO」フォルダに保存されます。

## 各部の役割



### ① 入力端子

INPUT 1, 2: マイクやキーボード、ギターを接続します。XLR、1/4 フォン（アンバランス）プラグに対応します。  
INPUT 3 ~ 8: マイクやキーボードを接続します。XLR プラグに対応します。

### ② Hi-Z スイッチ

INPUT 1 の回路を Hi-Z 対応に切り替えます。接続するギターやベースに合わせて ON にします。

### ③ PEAK インジケーター／入カゲインノブ

入カゲインノブで入力信号を調節します。PEAK インジケーターが点灯しないように調節します。

### ④ トラックインジケーター

各チャンネルの INPUT とフェーダーが、トラック 1 ~ 8, 9 ~ 16 のどちらに接続されているかを表示します。

### ⑤ トラック REC キー

押して赤に点灯させると、そのトラックが録音対象になります。

### ⑥ チャンネル／MASTER フェーダー

チャンネルフェーダー：各トラックの信号レベルを、 $-\infty$  ~  $+10$  dB の範囲で調節します。

MASTER フェーダー：OUTPUT 端子から出力される信号レベルを  $-\infty$  ~  $+10$  dB の範囲で調節します。

### ⑦ PHANTOM スイッチ

$+48$  V のファンタム電源の供給を切り替えます。INPUT 5 ~ 8 にファンタム電源に対応したコンデンサーマイクなどを接続するときに ON にします。

### ⑧ タッチスクリーン

各種情報が表示され、タッチで操作します。

### ⑨ 各種キー

CLICK キー：メトロノームの ON/OFF を切り替えます。ON のときはインジケーターが点灯します。

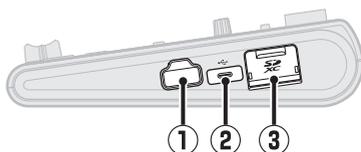
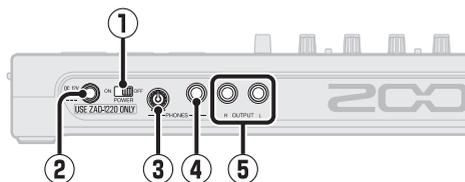
REW キー：1 小節前に戻ります。長押しすると早戻しします。

FF キー：1 小節先に進みます。長押しすると早送りします。

STOP キー：録音や再生を停止します。停止中に押すと録音再生ヘッドをプロジェクトの先頭に移動します。

PLAY キー：録音したファイルを再生 / 一時停止します。再生中、録音中はインジケーターが点灯します。

REC キー：録音を開始します。録音中はインジケーターが点灯します。



- ① **電源スイッチ**  
電源を ON/OFF します。
  - ② **DC12V AC アダプター端子**  
専用の AC アダプター (ZOOM ZAD-1220) を接続します。
  - ③ **PHONES 出力ボリュームノブ**  
ヘッドフォンの音量を調節します。
  - ④ **PHONES 出力端子**  
ヘッドフォンを接続します。
  - ⑤ **OUTPUT 端子**  
パワーアンプ、PA システム、パワードモーターなどを接続します。
- ① **REMOTE 端子**  
専用無線アダプター (ZOOM BTA-1 など) を接続します。専用アプリケーションを使って、iOS/iPadOS デバイスからワイヤレスで R20 を操作できます。
  - ② **USB (Type-C) 端子**  
USB メモリーへのプロジェクトコピーやインポートの他、USB MIDI キーボードを接続するとシンセの演奏に使用できます。また、パソコンを接続すると以下のことができます。
    - ・ R20 をオーディオインターフェースとして使用
    - ・ Guitar Lab を使って R20 のエフェクトを入れ替え
    - ・ R20 をカードリーダーとして使用
    - ・ DAW のフィジカルコントローラーとして使用
  - ③ **SD カードスロット**  
SDHC/SDXC 規格対応カードに対応します。

## その他の機能

プロジェクトの操作	名前変更、プロジェクトの複製、削除、書き出し、USB メモリーへのコピーができます。
波形編集	オーディオリージョンとリズムリージョンでは波形編集機能を使用できます。ピッチを変えずにリージョンの長さを変える、タイムストレッチ機能も備えています。
スナップ	リージョン、ノート (シンセの音) を表示されているルーラにスナップさせることができます。
ステレオリンク	隣り合う奇数トラックと偶数トラックを合わせて、ステレオトラックとして扱います。
トラックのオーディオファイルへの変換	トラックのリージョンを全て 1 つのオーディオファイルに書き出します。リージョン数の制限やエフェクト、シンセの制限を回避する方法として使用できます。
SD カード / USB メモリーから WAV ファイル、SMF の追加	SD カードや USB メモリーに入った WAV ファイルや SMF (Standard MIDI File) を、新しいリージョンとして追加できます。
マーカー	小節の先頭にメモを付けることができます。パートごとにメモを付ければ、曲の全体構成が把握しやすくなります。
メトロノーム	プリカウント、音色変更、PHONES 出力端子 / OUTPUT 端子別の音量調節機能を備えたメトロノームです。

シンセ	R20はシンセサイザーの音源を内蔵しています。外付けUSB MIDI キーボードを接続することでリアルタイム演奏による入力や、ピアノロール画面でタッチスクリーンを使った入力ができます。また SMF (Standard MIDI File) を読み込んでシンセリレーションにすることもできます。
フィジカルコントローラー	パソコンなどに USB 接続した R20 のキーやフェーダーを使って、DAW のトランスポート操作やミックス操作をコントロールできます。
USB オーディオインターフェース	R20 をパソコンなどと USB 接続し、最大で 8IN/4OUT のオーディオインターフェースとして使用できます。
Guitar Lab 接続	オンラインで配信されるエフェクトの追加や、パッチメモリーの編集/バックアップなどをパソコンで行うことができます。
SD カードリーダー	R20 をパソコンと接続して、SD カード内のデータの確認やコピーをすることができます。
iOS/iPadOS デバイスからの操作	専用無線アダプター (BTA-1 など) を接続すると、専用のコントローラーアプリケーションを使用して、iOS/iPadOS デバイスからワイヤレスで R20 を操作できます。

## 故障かなと思う前に

### 音が出ない、もしくは非常に小さい

- モニターシステムの接続、およびモニターシステムの音量を確認してください。
- R20 の音量設定が下がっていないか確認してください。

### マイクや接続した機器の音が聞こえない、もしくは非常に小さい

- マイクの向きや接続機器の音量設定を確認してください。
- R20 の入力ゲインの設定を確認してください。
- R20 のフェーダーの設定を確認してください。
- R20 の出力レベルの設定を確認してください。
- R20 のファンタム電源の設定を確認してください。

### 録音できない

- トラック REC キーが赤く点灯していることを確認してください。
- SD カードに空き容量があることを確認してください。
- カードスロットに SD カードが正しくセットされていることを確認してください。

- “SD card protected!” と表示されるときは、SD カードに書き換え保護がかけられています。ロックスイッチをスライドさせてライトプロテクトを解除してください。

### INPUT 1 に入力する音のノイズが多い

- Hi-Z スイッチの設定を確認してください。

### 録音した音が聞こえない、もしくは非常に小さい

- 各トラックのフェーダーが下がっていないか確認してください。
- そのトラックがミュート、または別のトラックがソロになっていないか確認してください。

### パソコンに接続しても認識されない

- USB ケーブルが充電専用のものではないか確認してください。
- R20 をパソコンに認識させるためには、R20 側で動作モードを選択する必要があります。

文中の製品名、登録商標、会社名は、それぞれの会社に帰属します。

iPad、iPadOS は、Apple Inc. の商標または登録商標です。

iOS は、米国をはじめとする国々における Cisco 社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用しています。

文中のすべての商標および登録商標は、それらの識別のみを目的として記載されており、各所有者の著作権を侵害する意図はありません。

# zoom®

株式会社ズーム

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-4-3

zoomcorp.com